

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200029		
法人名	医療法人社団 千葉医心会		
事業所名	グループホーム よされ		
所在地	千葉県千葉市花見川区宇那谷町123-13		
自己評価作成日	令和4年3月11日	評価結果市町村受理日	令和4年6月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7		
訪問調査日	令和4年3月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設の理念である「明るく家庭的な雰囲気をめざす」をモットーに常にご利用者様の立場に立って自立支援をすることでグループホームが第2の我が家になれる様に努めています。
医療法人ということもあり、医師や看護師と連携を取りご利用者様健康を増進して安心して生活ができるように努めています。
このコロナ禍でフロア別で行事やレクリエーションなどを行ったり、体操や散歩などで日々の体力維持に努めています。日中の活動も工夫しています。職員と入居者と共同で施設の庭で花壇を作りや花作りも頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎月ホームが発行する広報誌「よされ通信」はホームの行事や暮らしぶりを伝えている。さらに別紙で利用者個人の様子を伝えるページをつくり、家族に送付している。日頃の体調面、医療面の変化もこまめに家族に伝えており、家族からの信頼につながっており、家族アンケートでも高い評価を得ている。職員が玄関先につけた花壇は「千葉市花壇コンクール」に入賞しており、利用者も一緒に楽しんでいる。地域とは、自治会活動、運営推進会議、夏祭り、ボランティアとの交流など良好な関係性がある。現在はコロナ禍で中断しているが、感染状況が落ち着いたら再開したいと考えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	明るく家庭的な雰囲気を目指すという運営理念のもとに、研修・学習会を実施しています。施設内やパンフレットへの掲示板掲載。日常生活での自立支援、行事等に生かされるように努めています。	「明るく家庭的な雰囲気を目指す」の運営理念は事業所内部やパンフレットに掲示している。イベントや手作りランチなどメリハリのある家庭的な生活が送れるように工夫している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元自治会へ法人会員として協力しています。コロナ禍で交流の活動は出来ない状態です。小学校の資源回収への協力は継続しています。散歩の際に地域の方々に挨拶をしています。	ホームの存在は地域に理解され、地域の一員として溶け込んでいる。地域行事に参加したり、ホームのイベントに地域の子供たちが参加したり、ボランティアとの交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍で交流の活動が出来ない状態です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は書面開催で実施しています。	自治会長、民生委員、地域包括支援センター、家族代表等などが参加しているが、現在は書面での会議をおこなっている。利用者、職員の状況、行事やヒヤリハット報告、身体拘束適正化委員会の報告などを行っている。	書面であっても、議題を提示して意見をもらい、意見を検討してフィードバックするなど、双方向のやり取りが期待される。また、議事録は家族への配布も望まれる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話やFAX、メールでの連絡が主になっています。事故防止や感染症対策などで資料の提供を受けています。	行政とは様々な事項についてメールでやり取りをしている。また、地域包括支援センターは運営推進会議のメンバーであり、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は十分に理解し利用者の安全を考え支援を行っています。研修への参加や学習会を実施し、ミトン着用の利用者に対して職員会議や運営推進会議で身体拘束等適正化委員会を開いて、拘束の廃止に向けた話し合いをしています。	「身体拘束適正化のための指針」を定め、「身体拘束等の排除の理念及び方針」を法人の経営者が宣言している。毎月の職員会議に「身体拘束適正化委員会」の会議時間を取り、具体的な事例、対応方法について話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルに沿った対応を基本としています。日々の申し送り時に利用者の支援について話し合い、虐待の抑止に努めています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要のある方には関係者と連絡が取れるよう支援しています。また職員自身も制度のあり方を知るよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談、申し込みの際には施設を見学して頂き案内して内容を説明しています。申し込みの際には契約内容について丁寧に説明し理解して頂くよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族へのお手紙や新聞、電話などで近況をお知らせしています。来所時や電話などでご要望をお聞きしています。頂いたご意見等については担当者や会議での話し合いに役立て改善に努めています。	玄関には意見箱を設置している。家族が来訪した際には利用者の近況報告をするのと同時に、意見を聞き、反映に努めている。利用者からは、普段の会話の中で聞き取るようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフが中心となり、行事、勉強会等を行い積極的に運営に参加しています。職員会議で改善点を話しあったり、職員との個人面談などを通じスタッフの思いや意見などを聴取しています。	職員が役割を持ち、運営に参加することで、意見を言いやすい環境となっている。毎月の会議でも意見交換をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は定期的に代表者に職員の勤務状況や労働時間などを把握し報告しています。管理者が個人面談を行い、勤務条件や個人目標、本人の希望や要望聞き、働きやすい職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員自身が自己評価を行い管理者と面談をしています。個人の目標を設定し、ケアの実践で評価できるところは評価し、改善点があればアドバイスをしています。内部研修として学習会を行い各職員がテーマを決めて行っています。考える学習会が浸透してきており、他の職員に指導することが、何よりのトレーニングになっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他の施設との会議や研修、他にグループホームの管理者との意見交換の場を設けています。千葉市のグループホーム連絡会に加入していますが現在は活動できていません。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居後、家族からの情報、本人からの要望等を聞き、少しでも早く安心して過ごして頂けるよう努めています。また、日々の利用者の言動に対応しながら信頼される関係づくりに力を入れます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族も高齢になる中で、コロナ禍に伴い不安などを聞ける環境づくり。オンライン面会や又は窓越し面会となるが、来所しやすい雰囲気努めています。利用者の近況など情報を共有し、ケアの実践に繋げられるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の段階で、最優先する支援や課題を見極めるため、相談に応じながら生活面、健康面、経済面等を把握し、他の施設の相談員との連携が取れるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員や他の利用者と共に食事の下ごしらえや盛り付け、洗濯物たたみ、掃除をする等、今までの生活歴で馴染んできた事を活かし家庭的な雰囲気の中で生活出来るよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や窓越しの面会、オンラインによい交流を支援し、安心してゆっくりと話し合えるよう努めています。以前の生活の様子を聞いてアドバイスをもらったり、本人の好みものを持ってきてもらうなどしています。また日々の生活の様子を電話で伝えたり新聞等でお知らせするようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響でできていない状況です。電話やオンラインを通して面会、ご家族や知り合いとの連絡が取れるように努めています。	コロナ禍以前は、自由に馴染みの美容院や墓参り、外出に出ていたが、今は自粛状態にある。家族とは、さまざまな方法で面会ができるようにして、関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの身体状況や認知症の状態を把握し、施設での役割をもってもらいなど、日常生活を通して利用者同士が楽しく参加できる家事やレクリエーションを行っています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	手紙や年賀状など。退所先に面会に行ったり、必要に応じてご家族との連絡をとる場合もあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	行動・言動・表情などから、今の思いを知るように日々の関わりを行っている。困難な場合は、今の様子これまでの様子などから本人の視点に立って意見を出し話し合っ、思いや意向の把握に努めています。	職員は利用者とコミュニケーションを積極的に取り、会話、表情、仕草などから意向の把握に努めている。把握した内容は、管理日誌、申し送りノート、個人記録などで職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の生活歴、今までの暮らし方等、ご家族からの聞き取りを含め、ご本人の趣味や意向を汲み取れるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌・介護記録・申し送り等で職員間の情報の共有し日々の変化に気付けるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送りや、医療連携先看護師・医師と連携し、日々の情報交換を行い利用者やご家族に意見をうかがうなどしてケースカンファレンスにて対応を話し合い介護計画に反映している。	日々の記録を基に、ユニット会議での職員の意見や、必要に応じて医師、看護師の意見も加味して、現状に即した介護計画を作成するようにしている。2か月に一回見直しをおこない、必要に応じて随時見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員はケース記録に日々の変化を記録し必要であれば各種チェック表等を使用し状態の変化を把握する。職員に申し送り事項を引き継ぎ状態の変化に対応できるよう努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状況やご家族の希望など、その時々ニーズに臨機応変に対応しています。買い物や散髪、主治医の往診や通院、訪問看護など協力関係を生かして支援しています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	以前は地域での行事や催し物に参加、今までの馴染みの環境を支援していたが、コロナ禍に伴い以前のように参加は出来なため、家庭菜園の野菜・花等に触れたり世話をする中で、安全で豊かな暮らしを楽しめるよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回主治医による定期診察があり24時間体制で利用者の病状の変化に電話等で相談指示を仰ぐ事ができる体制です。必要な場合は協力医療機関への受診や情報提供などを行い連携をしています。	月2回の訪問診療、週1回の訪問看護により健康管理をおこなっている。緊急の場合は、24時間体制で医師、看護師に相談、指示を仰ぐことができる。専門医の受診が必要な場合は、家族か、難しい場合は職員同行で支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携を図り週一回訪問と日々の医療連携をとっています。日常で捉えた本人の変化や病状を報告、相談するなどしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族と十分に話し合い安心して療養できるよう声掛けしたり入院中の状況を把握し、医師や相談員と情報交換をして退院後も適切な対応が出来るよう努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者、ご家族にあらかじめ対応や方針をお聞きしています。医師の判断や指示を仰ぎ、病状の変化があるときはその都度説明しご家族の意向に沿えるように対応していきます。こちらで出来る事を十分に説明しながら方針を決め、支援していきます。終末期にご家族がご本人にしてあげたいことをくみ取り看取りのケアをしていきます。	「医療連携体制と重度化対応・終末期対応(看取り)についての指針」があり、利用契約時に説明し、同意を得ている。重度化した段階で医師から家族に説明し、職員はユニット会議で研修を受け、利用者や家族に寄り添った支援ができるように取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療法人としてのメリットを活かし、すぐに医師や看護師と連携できるような体制をとっています。また職員においては研修や学習会で対応が出来るようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火管理者を配置し定期的に避難訓練、防火設備点検を行っています。また非常食の備蓄をしています。感染予防対策・感染発生時の対応に関しても対応できるよう勉強会を開き体制を整えている。	定期的に避難訓練、消火訓練、設備点検を実施している。夜間帯想定訓練もおこなっている。災害時の感染対策についても研修を実施するとともにシミュレーションをおこなっている。ハザードマップを確認して、災害計画を作成している。	食料品、水、備品を一覧にして管理したり、事業継続計画についても検討できると、さらによいと思われる。

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格やこれまでの生活環境もふまえ、言葉や口調に気をつけ、その人に合った声かけを心がけている。また、トイレ・入浴時の対応ではプライバシーや自尊心を損ねないよう本人の立場に立って対応をするように取り組んでいます。	接遇研修で、言葉遣いや声掛けについて学んでいる。特に、トイレ誘導時、入浴対応時はプライバシーを損ねないように配慮している。認知症ケア専門士の資格を有した職員が、認知症ケアの研修をおこない、尊厳を損なわないケアについて伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	関わっている職員が、日頃から利用者の発する言葉や表情に耳を傾け関心に向けて、その真意はどこにあるのかを考え、自己決定できるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調や気持ちに変化がある日々の中、“今”の思いを大切に、希望に沿って支援を心掛けている。(休憩・皿拭き・洗濯干しやたたみ・野菜や花の世話・レクレーション等)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2カ月に1度訪問理容があります。髭剃り・爪切り・耳掃除などは定期的に行っています。衣服はご本人が選択していただけるよう声掛けをし、季節やその場に適した服を着用できるよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好き嫌いを把握し、お粥や刻み食、ペースト食などにも対応しています。職員と一緒に下ごしらえや盛り付けを行ったりしています。お楽しみ昼食などで利用者の希望のメニューで手作りしています。	食材の会社から配達された材料で職員が調理している。また、お楽しみ昼食の日を設け、利用者の希望する食事を利用者と一緒準備したり調理している。ひな祭りや敬老会にはテイクアウトのお寿司を提供するなど、食事を楽しめるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時間のほかにお茶の時間を設けたり食事や水分の摂取で変化のある方については摂取量を記録して把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時にうがい、また毎食後には歯磨きや義歯の洗浄を促していきます。利用者の能力、習慣に応じて適切な援助を行っています。また月に1度、法人内の歯科医による回診があります。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表をみて一日の排泄パターンを把握し、声掛け・トイレ誘導を行っています。その人の状況に応じて、リハビリパンツから布パンツを試してみたり、自立されている方には、見守りまたはさりげない声かけ等を行っています。	排泄記録を作成して職員間で共有し、声掛けをしてトイレでの排泄を支援しており、リハビリパンツから布パンツに移行するなど、自立に繋げるよう取り組んでいる。プライバシーに配慮した声掛け、ドアを閉めるなど基本を大切にしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動を促したり食事メニューに配慮しています。必要な場合は医師や看護師に相談し排便コントロールしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個室風呂なので、1日に3人程度、週に2~3回を目安に介助の必要な状態や、本人の希望に応じて入浴して頂いています。	週2回から3回入浴支援をしている。体調や気分により、時間を変更したり清拭にする場合もある。入浴記録を作成して入浴状況を把握している。自分のシャンプーやボディソープを使用している利用者もいる。冬季は入浴剤を使うこともあり、入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の体調や生活リズムに合わせて、疲れたら休んでいただくなど、必要に応じて支援しています。安心して眠れるように事前に居室の温度・カーテンなど就寝環境を整えています。不眠時には、お話を聞き安心されるように対応をしています。毎日の様子や血圧変動・排便状態等の確認を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	既往歴、内服薬の用法、副作用について理解し誤薬がないよう投薬のチェックを職員2名で利用者の名前を読み上げながら確認しています。また症状の変化を観察、確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯たたみ・食器拭き・花の世話など役割を持ち、新聞やテレビを観たり、日々の習慣が継続できるよう支援。レクリエーションでは、ぬり絵や歌・ドライブ・散歩・季節の催しなど、喜び楽しみのある日々が送れるよう支援をしています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍に伴い、感染予防もあり戸外に出かけることに制限がありますが、こちらでそれに代わる行事等で支援をしています。散歩は積極的に行っています。	可能な限り散歩に出ている。コロナ禍で外出制限はあるが、季節ごとのお花見や、外食などの計画はある。利用者の意欲低下、ADL低下を予防するため、体操、レクリエーションなどは積極的におこなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が困難な方が多い為、ほとんどの方が所持されていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホールにいつでも使用できる電話があり、希望者がある場合は、ご本人が電話をかけたり職員が取り次ぐ等の対応をしています。利用者が書いたお手紙を預かったり、届いた手紙などは利用者へ直接渡しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃と換気、温度湿度調節を行い清潔で居心地よい環境を保つよう心掛けています。エアコンや加湿器の設置。ソファやTVの設置。トイレの表示の工夫。玄関、ホールには季節感のある装飾品や花を飾り生活の工夫をしています。	玄関に置かれたプランターには利用者が作ったプレートが飾られていた。千葉市の花壇コンクール、プランターの部で入賞したことである。リビングにはソファもあり、ゆったりと寛げる。花を飾って季節を感じられるようにしている。また、換気をし、加湿器も設置して感染予防に努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い利用者同士の座席を配慮するなどしています。ソファやベンチなどでも寛げるよう工夫しています。また、その季節に合った飾りつけを入居者と一緒に作成し季節を感じて頂いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者、ご家族と相談し馴染みのある家具や思い出のある品物を居室に置き、安心して落ち着いて過ごせるよう工夫しています。部屋や場所の掲示、壁への写真や作品展示などしています。	家族の写真や趣味の道具、使い慣れた布団やこたつを持ってきている人もおり、それぞれが居心地よく過ごせるような居室にしている。鏡や化粧品が置かれている部屋もあった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット会議や申し送り等で、日頃の言動から「出来る事」「分かる事」を把握し、支援方法の改善の検討・実施を行っています。自立した生活が送れるように見守り、安全に配慮しながらお手伝いをしています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと